



平成 29 年 1 月 20 日

各 位

会社名：株式会社 三城ホールディングス
 代表者名：代表取締役社長 多根 裕詞
 (コード：7455 東証第1部)

問合わせ先：常務執行役員 ファイナンス担当 中塚 哲郎
 (TEL. 0 3 - 6 4 3 2 - 0 7 3 2)

通期連結業績予想の修正のお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 5 月 13 日に公表しました平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成29年3月期 通期連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	53,982	489	378	72	1.42
今回修正予想 (B)	50,509	△ 537	△ 513	△ 1,273	△ 24.74
増減額 (B-A)	△ 3,472	△ 1,027	△ 892	△ 1,346	
増減率 (%)	△ 6.4	—	—	—	
(ご参考)前期連結実績 (平成28年3月期)	53,727	269	174	△ 601	△ 11.69

2. 修正の理由

売上高は、既存店舗のリニューアルやマーケットに合わせた価格帯の見直しを行うなど、客数の増加に取り組むことで前年を上回る計画としておりましたが、まだリニューアルなどを行っていない店舗の伸び悩みや、全社的な販売促進などにも本格的に取り組めていないこともあり、この12月度までの推移状況から通期予想を下回る見込みとなりました。

また販管費は、経費の抑制により当初の計画を下回っておりますが、販管費率の高い収益構造から、売上高が想定を下回ることにより、営業利益は大きく下回る見込みとなり、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれについても営業利益に連動して予想を下回ることが見込まれるため、修正をすることといたしました。

既存店舗におきましては、現在、不採算店の整理を進めつつリニューアルを行うなど改善に取り組んでおり、12月度の客数、眼鏡数（組数）におきましては前年を上回っていることから、徐々にその取り組みの成果は出てきておりますが、全体を底上げするには、まだしばらく時間を要するものと見込んでおります。

なお、客数を増やすことを目指している施策に変更はなく、来期もその取り組みをさらに推し進めていく方針です。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上